

## 中共による臓器狩りに対する国際的注目の最新動き (2011.06 至 2013.1)

以下のデータは、台湾国際臓器移植関心協会( [www.organcare.org.tw](http://www.organcare.org.tw) ) によって作成及び提供される

日期	項目	主要内容
2011.06.11	米国非移民ビザ申請フォームForm DS-160にある質問	米国オンライン非移民申請フォームDS-160には、申請者に次の質問がある。「貴方は今まで強迫的な臓器移植手術に直接に関与したことがありますか」
2012.05.24 発表	米国国務省2011年度人権報告書	報告全文: <a href="http://www.state.gov/documents/organization/186478.pdf">http://www.state.gov/documents/organization/186478.pdf</a> に臓器狩りが言及されている(第6ページ) 死刑執行された囚人の臓器が移植のために摘出されたという疑惑に対して、中国政府衛生部の黄洁夫・副部长は、2009年、囚人は臓器の適切な資源ではないこと、および囚人は臓器を摘出されることへの合意書を出すことが要求されているという声明を公表しています。海外・国内のメディアや擁護団体は、特に法輪功学習者とウイグル人からの臓器摘出のケースについて報告を続けています。
2012.06.14 出版	『中国臓器移植の濫用』	反臓器狩り医師団編集 <a href="http://www.dafoh.org">www.dafoh.org</a> ISBN-10: 192707911X ISBN-13: 978-1927079119 <a href="http://www.amazon.com/State-Organs-Transplant-Abuse-China/dp/192707911X">http://www.amazon.com/State-Organs-Transplant-Abuse-China/dp/192707911X</a>
2012.09.12	米国連邦議会の「中共による宗教または政治異見者を対象とする臓器狩り」公聴会	9月12日午後、米国下院外交委員会調査・監視小委員会とアフリカグローバル健康及び人権小委員会合同で主催した公聴会で、両委員会の議長であるDana Rohrabacher氏とChris Smith氏は共同で進行を務めた。四人の証人は、反臓器狩り医師団(Doctors Against Forced Organ Harvesting, 略称DAFOH)の広報担当のDamon Noto博士、カリフォルニア大学ロサンゼルス・キャンパス医学スクール教授のGabreil Danovitch博士、グローバル脱党サービスセンター広報担当の李祥春博士及び著名な作家、元の古参のジャーナリストのEthan Gutmann氏である。 その公聴会の詳細記録は、『中国臓器移植の濫用』(State Organs)の中国版の最後に添付されている。9月12日午後、国際教育発展委員会は、国連人権委員会に、中共による法輪功学習者への臓器狩りを調査するよう提案した。

2012.09.18	<p>国際教育発展組織 (IED) は、国連人権委員会に、中共による法輪功学習者への臓器摘出を調査するよう要望した</p>	<p>9月18日、国連人権委員会第21回会議は、国連のジュネーブ・パレデナシオンで行われた。国際教育発展委員会 (IED) の首席代表の Karen Parker 博士は、発言中に次のようなことを指摘した。国際教育発展委員会は国連に、中国における法輪功学習者が精神病院で受けた拷問と虐待及び他の不当な扱いに関する手書きの声明文 (NGO/57) を出した。ますます多くの証拠によって、多くの法輪功学習者の臓器は強制的に摘出されたことが明らかになる。彼女は、国連人権組織は、その悲惨なことを一つの緊急議案としないといけなと呼びかけた。</p> <p><a href="http://www.epochtimes.com/b5/12/9/19/n3686172.htm">http://www.epochtimes.com/b5/12/9/19/n3686172.htm</a></p>
2012.10	<p>バンコクで開かれた人体臓器及び組織の贈与に関する会議で世界医学会が発表した声明文</p>	<p>世界医師会は臓器移植手術で死刑囚の臓器利用を反対する意見を再度述べた。死刑が執行されている法域で、刑死した囚人を、臓器および／もしくは結合組織のドナーとみなすべきではない。圧力を受けずに囚人が自主的に臓器を提供する個々のケースが存在する可能性も考えられるが、全てのケースにおいて強制的な臓器摘出がないように被害者を保護することは不可能なことだ。</p>
2012.10.04	<p>106名の米国下院議員は連名でヒラリー国務長官に書簡を出す</p>	<p>106名の米国下院議員は連名でヒラリー国務長官に、法輪功学習者の臓器狩りに関する入手した資料をすべて公表するよう要望した。またその書簡は、もし米国はその証拠を獲得すれば、中共による臓器狩りの犯罪を止める措置を取らなければならないと提案した。</p> <p><a href="http://www.epochtimes.com/b5/12/10/5/n3698589.htm">http://www.epochtimes.com/b5/12/10/5/n3698589.htm</a></p>
2012.10.10	<p>中国問題に関する米国連邦議会・行政委員会</p>	<p>中国問題に関する米国連邦議会・行政委員会 (CECC) 2012年度の人権報告書の113ページ。中国で進行している法輪功学習者への臓器狩りの告発はずっとある。その報告は世界保健機関の専門家の次のような見方を引用した。中共の軍病院は恐らく不法の臓器移植に関与したという。</p> <p>報告原文  <a href="http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/CHRG-112shrg76190/pdf/CHRG-112shrg76190.pdf">http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/CHRG-112shrg76190/pdf/CHRG-112shrg76190.pdf</a>  それに関する報道  <a href="http://www.epochtimes.com/b5/12/10/12/n3703889.htm">http://www.epochtimes.com/b5/12/10/12/n3703889.htm</a></p>
2012.11	<p>『中国臓器移植の濫用』の中国語版の出版</p>	<p>『中国臓器移植の濫用』の中国語版。博出版</p>
2012.11.14	<p>千名以上の台湾医師は連名で中共による臓器狩りを反対する。</p>	<p>10月、ワシントンで立ち上げた「強制的な臓器摘出に反対する医師団」と連名で中共による臓器摘出に反対する医師団は、医学界での連名で中共による臓器狩りの犯罪を止めようとする活動を推し進めてきた。11月14日までに台湾で千人以上の医師は、中共による法輪功学習者、死刑囚及び良心の囚人への臓器狩りに反対する署名をした。</p>

2012.12.06	欧州議会の中国人権公聴会で臓器狩り犯罪を告発	欧州議会人権委員会は、12月6日に中国人権公聴会を開いた。欧州議会議員、欧州連合関係者、NGO組織代表及び各専門分野の学者は、中国人権問題を注目している。その公聴会に参加したカナダの人権弁護士であるデービッド・マタス氏は、中共による法輪功学習者への臓器狩り犯罪に関して講演を行った。彼は次のように語った「法輪功は、今まで中国で受けた人権虐待の最も深刻な被害者なので、彼らは最も高い関心を受けるべきです。欧州議会は、中共による人権侵害事件に対応する時にその原則を従うべきです。私は、欧州連合は2012年のノーベル平和賞を受賞することを嬉しく思っています。その授賞は、欧州連合が中国の臓器狩りに迫害を受けている良心の囚人、特に法輪功学習者を注目し続けることを促すべきだと思います」
2012.12.18	中国問題に関する米国連邦議会・行政府委員会の「中国での法輪功、回顧と更新」公聴会	中国問題に関する米国連邦議会・行政府委員会(CECC)は、中共による法輪功への迫害及び当面の状況に対し、「中国での法輪功、回顧と更新」公聴会を主催した。それは米国国会は最近法輪功問題を巡って主催した二回目の公聴会である。その中で臓器狩りの問題は最も議員たちに注目された。中国問題に関する米国連邦議会・行政府委員会議長、アメリカグローバル健康及び人権委員会議長、古参のChris Smith下院議員は、中共による法輪功学習者への臓器狩りは、甚だしく人を怒らせることだと表した。また彼らは、今あるもっぱら中共の臓器狩りに対する犯罪者を厳罰する新しい法案を推し進めていると言われている。その法案によれば、中国でその犯罪を起こして人物及び彼らの親族は、米国のビザを申請すれば、永遠に拒否され、また彼らの子供も入学に米国に来ることもできないとのことである。 <a href="http://www.epochtimes.com/b5/12/12/19/n3756132.htm">http://www.epochtimes.com/b5/12/12/19/n3756132.htm</a>
2012.12.18	ジュネーブ国連人権委員会は、中共による法輪功学習者への臓器狩りの調査を要請する16万人の欧州民衆の署名を受領した。	12月18日午後、二名の国連人権委員会のスタッフは、国際的に著名な人権弁護士であるデービッド・マタス氏(David Matas)による請願書を受けた。その請願書は、欧州の36か国の166,461人の民衆及び政治家の署名を含んでいる。その請願活動は、NGO反臓器狩り医師団が欧州で発起したもので、欧州各国の民衆は積極的にその活動に応じた。10月6日から11月22日までに、およそ一か月半の内に、スイス、スウェーデン、イギリス、イタリア、ポーランド、ベルギーなどの欧州各国の署名は数多く集まった。その中に、欧州各国の700くらいの国会議員、市長、欧州議会議員、医学専門家、教授、国際NGO組織の責任者などの署名が含まれている。
2013.1.1	2800人以上の台湾の医師が中国による臓器狩りに反対する署名をした。	2012年10月から、ワシントンで立ち上げた「強制的な臓器摘出に反対する医師団」と台湾の医学界で立ち上げた「台湾国際臓器移植関心協会」は、医学界での連名で中共による臓器狩りの犯罪を止めようとする活動を推し進めてきた。2013年1月1日までに、台湾の医学界はすでに、2800名の医師及び2600名の医療関係者は、中共による法輪功学習者、死刑囚及び良心の囚人への臓器狩りの犯罪を反対、そして法輪功への迫害を停止するよう署名した。